

2025年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

2025年5月13日
株式会社ズーム

北米市場の将来不安の高まりと、新製品投入直後だった前年比でHARが減少し減収減益

売上高

3,788百万円

(前年同期比△189百万円)

- 年末まで堅調だった北米消費者の将来期待が新政権発足の1月以降急激に悪化※し、販売減少
- 前年同期には、新モデルであるEssentialシリーズを3機種同時に投入

*参考: The Conference Board's Consumer Confidence Expectations Index

営業利益

△58百万円

(前年同期比△113百万円)

- 売上総利益率が高い北米市場の売上不振により、売上総利益が減少
- 売上総利益率が低い他社ブランドの売上構成比が増加(40%→48%)

通期の見通し

- 米国の関税政策に対しては、中国外生産比率の引き上げとコスト増の価格転嫁により対応
- 関税に対する施策は進行中も、不確定要因が多く先行き不透明のため業績予想は据え置き*

*米国関税政策の業績への影響(P11)参照

I. 2025年12月期 第1四半期決算

2025年12月期 第1四半期 連結損益計算書(要約)

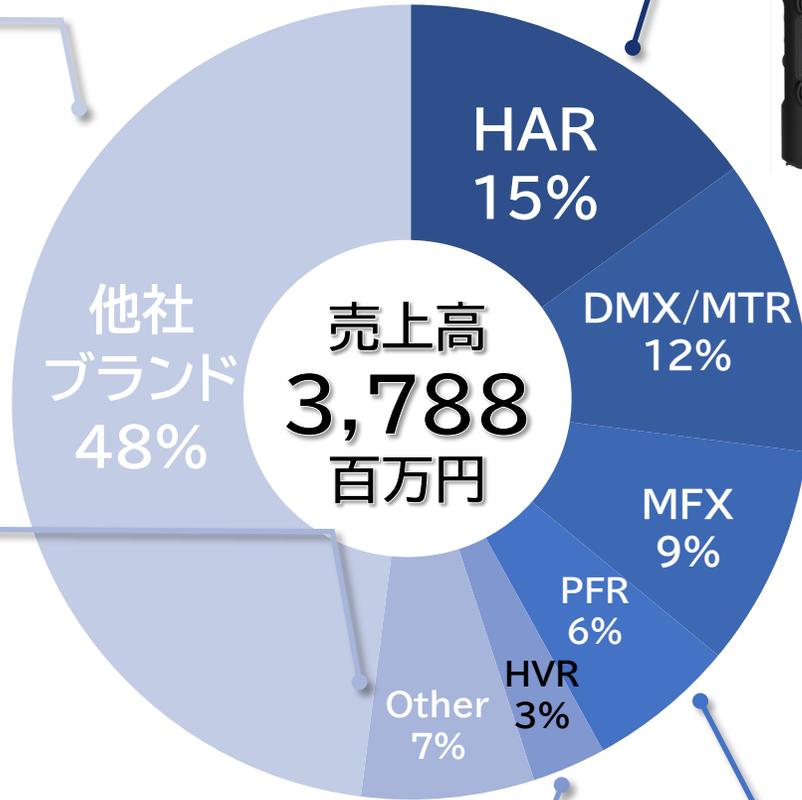


(百万円)

	2024.12期 1Q実績	2025.12期 1Q実績	増減額	摘要
売上高	3,978	3,788	△189	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年末まで良好だった北米消費者の将来期待が1月以降急激に悪化し、販売減 ・前年同期には、新モデルであるEssentialシリーズを3機種同時に投入 ・その他の主要地域は、新製品の寄与と他社ブランドの好調により増収
売上総利益 (売上総利益率)	1,604 (40.3%)	1,471 (38.8%)	△133	<ul style="list-style-type: none"> ・売上総利益率が高い北米市場の売上不振により、売上総利益が減少 ・売上総利益率が低い他社ブランドの売上構成比が増加
営業利益 (売上高営業利益率)	55 (1.4%)	△58 (△1.5%)	△113	<ul style="list-style-type: none"> ・営業利益の増減分析(P7)を参照
経常利益 (売上高経常利益率)	32 (0.8%)	△88 (△2.3%)	△120	<ul style="list-style-type: none"> ・支払利息が9百万円増加
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	△78 (△2.0%)	△181 (△4.8%)	△103	<ul style="list-style-type: none"> ・のれん償却費に節税効果がないこと等により、法人税等として40百万円を計上 ・持分51%連結子会社の利益の49%分を、非支配株主持分へ53百万円振替え
EBITDA	255	143	△112	<ul style="list-style-type: none"> ・EBITDA = 営業利益 + ※減価償却費 ※のれん償却費116百万円(前年115百万円)を含む
研究開発費 為替差損益	198 △14	224 △10	25 4	
平均為替レート(円/米ドル)	148.5円	152.6円	+4.1円	

他社ブランド

- Mogar取扱いブランド
- フックアップ取扱いブランド
- Sound Service取扱いブランド



Handy Audio Recorder



H5studio

業界初19.4mmの大口径ステレオマイクを搭載したジェットエンジンの轟音も歪みなく収録できる32bitフロート対応スタジオ品質のハンディレコーダー

Digital Mixer / Multi Track Recorder



PodTrak P2

バックグラウンドノイズを劇的に低減するAIノイズリダクション搭載の世界初USBマイク用ポッドキャストレコーダー

Multi Effector



MS-90LP+

コンパクトな筐体に5つのフットスイッチを搭載。最大100種類のループフレーズを保存可能な足元の操作だけで内蔵リズムマシンやループエフェクトを利用できるストンプボックス

Other(Audio Interface, Vocal processor, Microphone, Accessories)



ZDM1-PMP

ブロードキャスト品質のダイナミックマイク、音漏れの少ない密閉型ヘッドフォン、高さ調節可能な卓上マイクスタンドを含むコンプリートパッケージ

Handy Video Recorder



Q8n-4K

ミュージシャンのための高音質4Kカメラ

Professional Field Recorder



F3

様々な撮影現場で、大音量から極めて静かな音まで最高のクオリティで歪みなく録音できる32bitフロート対応のフィールドレコーダー

北米市場の不振により多くのカテゴリーが前期比減も、新製品と他社ブランドは好調

(百万円)

	2024.12期 1Q実績	2025.12期 1Q実績	前年比 (為替影響除外)	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	931	564	△39.4% (△39.9%)	・北米市場での販売不振 ・前年同期には、新モデルであるEssentialシリーズを3機種同時に投入
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	446	459	+2.9% (+1.8%)	・新製品L6の売れ行きが好調
マルチエフェクター (MFX)	299	359	+20.2% (+19.6%)	・MultiStompシリーズを刷新・拡大したMS+シリーズの売れ行きが好調
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	285	209	△26.5% (△27.2%)	・北米市場での販売不振 ・前期から新製品をリリースせず
ハンディビデオレコーダー (HVR)	133	122	△8.3% (△9.0%)	・北米市場での販売不振
その他	322	273	△15.1% (△16.1%)	・北米市場での販売不振
Mogar取扱いブランド	283	318	+12.3% (+11.4%)	・取扱いブランドであるXvive、Studiologic、LTDの売れ行きが好調
フックアップ取扱いブランド	344	349	+1.3%	・低価格帯の好調や各種プロモーション販売による売上増 ・前期末の年末商戦による反動減
Sound Service取扱いブランド	930	1,131	+21.5% (+21.5%)	・2024年10月に商圏を引き継いだSCV Distribution Limitedの取り扱いブランドの売上が貢献
合計	3,978	3,788	△4.8% (△5.3%)	

将来不安の高まりにより北米市場は不振も、それ以外の主要地域は増加

(百万円)

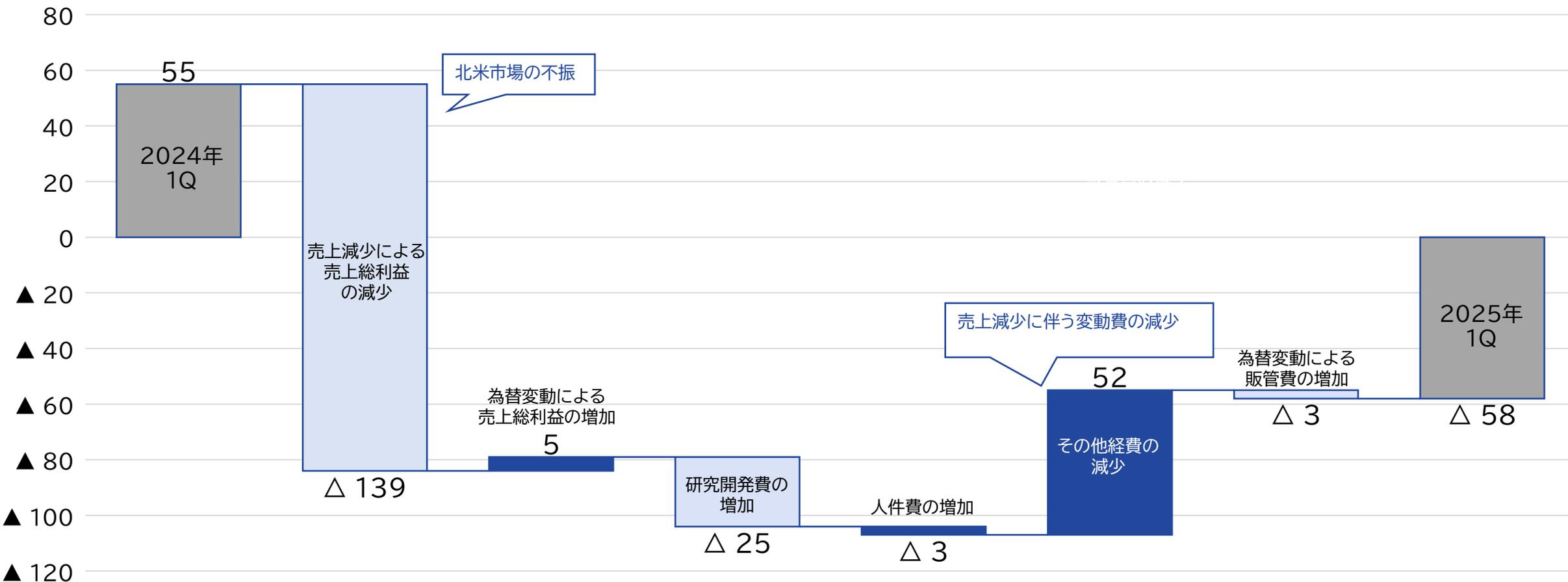
	2024.12期 1Q実績	2025.12期 1Q実績	前年比 (為替影響除外)	売上高の増減要因
中央ヨーロッパ ^{※1}	1,644	1,690	+2.8% (+2.8%)	・2024年10月に商圏を引き継いだSCV Distribution Limitedの取り扱いブランドの売上が貢献
日本	620	689	+11.1%	・ZOOM製品、特に新製品の売れ行きが好調
南ヨーロッパ ^{※2}	580	634	+9.2% (+9.8%)	・ZOOM製品が特にAmazonで好調 ・取扱いブランドであるXvive、Studiologic、LTDの売れ行きが好調
北米	875	609	△30.4% (△32.2%)	・昨年末まで良好だった北米消費者の将来期待が1月以降急激に悪化し、販売減
その他	257	165	△35.6% (△38.3%)	・中国▲31百万円、台湾▲21百万円、U.A.E▲16百万円
合計	3,978	3,788	△4.8% (△5.3%)	

※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

2025年12月期 第1四半期営業利益の増減分析

(百万円)

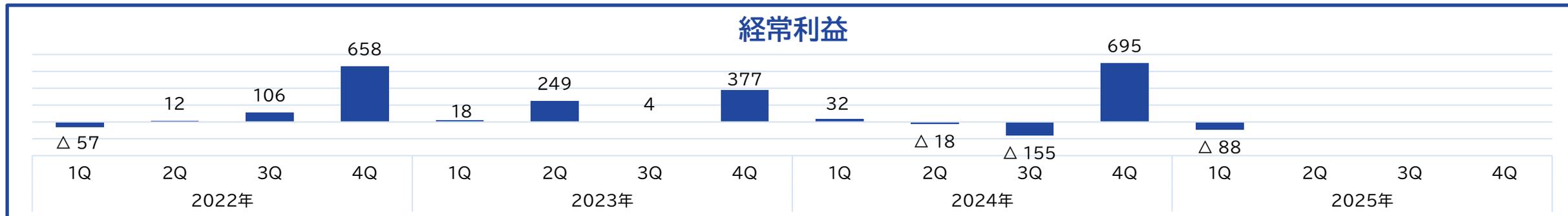
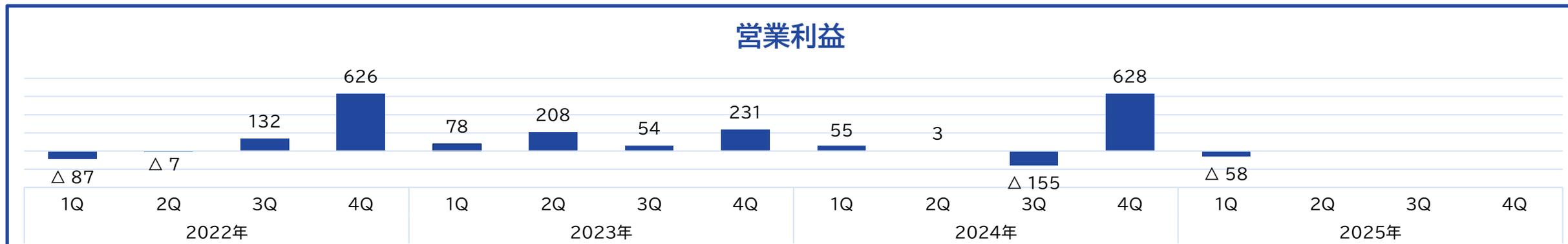


2025年12月期 第1四半期 連結貸借対照表(要約)

(百万円) ※末日レート 24.12期末:1\$=158.2円、25年12期1Q末:1\$=149.5円

	24.12期末	25.12期 1Q末	増減額	主な増減要因
流動資産	14,965	13,754	△1,210	
現預金	3,315	2,900	△414	
受取手形及び売掛金	2,538	1,806	△731	売上減少:前期4Qは5,950百万円、当期1Qは3,788百万円
商品及び製品	7,348	7,294	△54	
原材料及び貯蔵品	901	1,019	117	有償支給部品の増加
固定資産	5,122	4,830	△292	
有形固定資産	1,451	1,365	△85	
無形固定資産	3,054	2,844	△209	償却及び為替変動により、のれんが205百万円減少
投資その他の資産	616	619	2	
資産合計	20,087	18,584	△1,503	
流動負債	7,760	7,005	△754	
買掛金	1,569	1,110	△459	前期末は年末商戦に向けた在庫の積み上げによる仕入債務が増加
短期借入金	4,129	3,999	△130	運転資金の返済
固定負債	3,705	3,538	△167	長期借入金が126百万円減少
負債合計	11,466	10,543	△922	
資本金	212	212	—	
純資産合計	8,621	8,040	△581	為替換算調整勘定が264百万円減少
負債純資産合計	20,087	18,584	△1,503	

(百万円)



Ⅱ. 2025年12月期 業績予想

各種施策を講じているものの、上振れ・下振れいずれにも不確定要因が多く、先行きが不透明であることから、通期業績予想は据え置き

【進行中の施策】

- 生産拠点の即応性を高め、中国外生産比率を今夏中に48%→75%へ引き上げる
- 関税によるコスト増加分は、価格転嫁により対応
- 第1四半期末時点で、売上4か月分に相当する無関税在庫を北米に確保
- 新製品はすでに中国外生産を前提に計画
- 北米以外の市場開拓と販売強化を推進

上振れ要因

- 競合他社より高い中国外生産比率によるコスト・供給優位
- 値上げによる利益率改善
- 中間選挙を見据えた減税などの景気刺激策の実施

下振れ要因

- 暫定期間終了後の関税率上昇
- 価格転嫁による販売台数の減少
- 不確実性の継続に伴う景況感のさらなる悪化

通期連結業績予想及び配当予想は前回発表から変更なし

(百万円)	24.12期	25.12期				
	実績	予想	増減額	増減率	1Q実績	進捗率
売上高	18,072	18,500	+427	+2.4%	3,788	20%
営業利益	531	900	+368	+69.3%	△58	—
経常利益	554	830	+275	+49.8%	△88	—
親会社株主に帰属する当期純利益	40	340	+299	+731.8%	△181	—
EBITDA	1,338	1,702	+363	+27.2%	143	8%

一株当たり当期純利益	9.41円	78.10円	+68.70円	+730.3%
一株配当	31円	32円	—	—
配当性向	329.5%	41.0%	—	—
為替レート(円/米ドル)	151.5円	140.0円	—	—

(ご注意)本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります